

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	胃切除検体の Tissue microarray を用いたバイオマーカーの検討
	研究目的	胃癌に対する化学療法選択に関わる病気の進行速度や治療に対する反応をみる指標（以下「バイオマーカー」という。）として HER2、CPS、MSI（dMMR）などが実臨床で用いられています。Claudin 18.2 や FGFR は新規抗がん剤の開発が進められており、新たなバイオマーカーとして期待されています。胃癌におけるこれらのバイオマーカーの相互関係や一部のバイオマーカーの発現頻度については明らかにされていません。本研究では胃癌患者さんの胃切除検体を調査し前述のバイオマーカーの相互関係や発現頻度などを調査します。また新たな診断補助器具としてロシュ・ダイアグノスティック社の uPath システムを用いその有用性を評価します。
	研究対象者	2001 年 1 月～2006 年 3 月に当院で胃切除された胃癌患者さんのうち Tissue Microarray に使用された患者さん
	研究期間	西暦 2022 年 3 月 7 日～西暦 2024 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を利用します）		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理についての責任者	当センター 研究責任者	消化器内科・消化管 古田光寛
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器内科・消化管、消化器外科、臨床研究所
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし